

YAITA ALL DIRECTIONS (YAD) (矢板市) の取組

【特色】第14回矢板武塾終了後、参加者のうち9名が団体設立を目指し活動を始めた。高校生が勉強したり、集まったりできる場所（通称：高校生カフェ）の開設が大きな目標で、高校生視点でまちなかのにぎわいをつくり出すための企画をしている。おすすめスポットを紹介する「まちあるきマップ」は、メンバーが実際に店舗を取材して作成した。

取組事例

- まちあるきマップの作成
 - ・メンバーが実際に「まちあるき」をしてお店の方から取材し、高校生の目線を生かし、詳しく知りたいことや広く知らせたいこと等の情報を書き込み、みんなが活用しやすいマップを作成した。
- 団体のPR活動
 - ・市内のイベントで団体の周知を図りながら、活動の輪を広げている。
 - ・団体のPR動画を作成している。

活動の効果

- まちあるきマップの作成により、高校生が市内のお店に興味をもち訪れるようになった。
- 単年度の活動目的を明確にしなが、高校生が活動に取り組むことができている。

地域活動による効果・成果

地域活動がうまくいっている要因

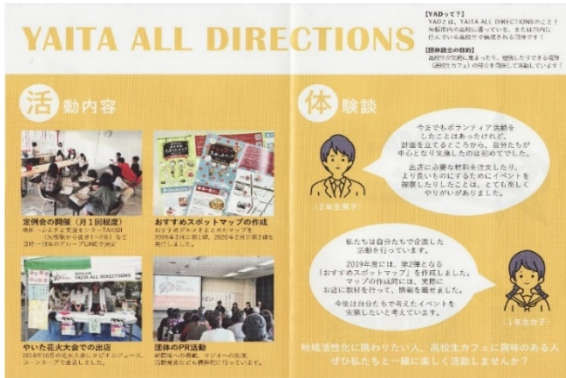
- ・市の担当者が事業者とのやりとりを行うことにより、生徒は活動に専念できるようにしている。

活動しやすい環境整備のポイント

- ・担当者が情報を提供することにより、生徒主体で考えた活動につながる。

参加している生徒の声

- ・仲間と協力して、自分の住む地域のための活動に取り組むことにやりがいを感じています。自分たちの活動で、誰かが喜んでくれるのが嬉しいです。
- ・形のないものを一からつくることの大変さを知るとともに、地域という大きなコミュニティで何かを成し遂げるためのつながりが得られました。
- ・地域活動をとおして、地域コミュニティのあたたかさを実感し、地元愛が生まれました。
- ・活動をするのに、自分たちだけではなく様々な人の手を借りていることを実感しました。



活動紹介パンフレット



まちあるきマップ